

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成28年10月20日 (2016.10.20)

【公開番号】特開2014-95897(P2014-95897A)

【公開日】平成26年5月22日 (2014.5.22)

【年通号数】公開・登録公報2014-027

【出願番号】特願2013-211596(P2013-211596)

【国際特許分類】

G 0 2 F 1/1343 (2006.01)

H 0 1 L 21/336 (2006.01)

H 0 1 L 29/786 (2006.01)

G 0 2 F 1/1368 (2006.01)

G 0 2 F 1/133 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

G 0 9 G 3/36 (2006.01)

G 0 9 F 9/30 (2006.01)

【 F I 】

G 0 2 F 1/1343

H 0 1 L 29/78 6 1 2 Z

H 0 1 L 29/78 6 1 8 B

G 0 2 F 1/1368

G 0 2 F 1/133 5 5 0

G 0 9 G 3/20 6 2 1 B

G 0 9 G 3/20 6 2 3 C

G 0 9 G 3/20 6 2 4 B

G 0 9 G 3/20 6 2 1 M

G 0 9 G 3/20 6 8 0 G

G 0 9 G 3/36

G 0 9 G 3/20 6 1 1 A

G 0 9 G 3/20 6 4 2 D

G 0 9 G 3/20 6 1 1 J

G 0 9 G 3/20 6 4 2 C

G 0 9 G 3/20 6 1 1 D

G 0 9 F 9/30 3 3 8

【手続補正書】

【提出日】平成28年9月2日 (2016.9.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画素を有し、

前記画素は、画素電極と、トランジスタと、を有し、

前記トランジスタは、酸化物半導体を有し、

前記画素電極は、第 1 のソース線と第 2 のソース線との間に配置され、

前記画素電極は、前記トランジスタを介して、前記第 1 のソース線と電氣的に接続され

、

前記第 1 のソース線に入力されるビデオ信号の極性は、前記第 2 のソース線に入力されるビデオ信号の極性と互いに異なり、

前記画素電極と前記第 1 のソース線との間に形成される第 1 の容量成分の容量値に対する、前記画素電極と前記第 2 のソース線との間に形成される第 2 の容量成分の容量値の差が、- 10 % 以上 10 % 以下であることを特徴とする液晶表示装置。

【請求項 2】

請求項 1 において、

前記画素は、容量素子を有し、

前記画素電極は、前記容量素子に電氣的に接続され、

前記容量素子の容量値が 30 fF 以下であることを特徴とする液晶表示装置。

【請求項 3】

請求項 1 において、

前記画素は、容量素子を有さないことを特徴とする液晶表示装置。